（２）調査結果

１）調査結果概要

事例名称		事業分野・施設	所在都道府県	事業主体	事業特性
Ⅲ	太田川基町護岸・元安川親水護岸	河川	広島県	国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所	1983年竣工、改修整備、大規模（地域全全体へ影響）、地域住民の利用中心

調査結果概要

現地での調査		対象	手法	捉えられた効果		
				意識変化	活動変化	空間変化
利用者	利用者へのアンケート調査	周辺在住、通勤・通学者、中央公民館利用者等122名	配布アンケート	○休憩しやすくなった ○散歩しやすくなった ○周辺の景観（街や山）と調和している ○石積み護岸や雁木の雰囲気 ○親しみ、愛着 ○基町環境護岸に対する誇り	○通勤、通学等の利用 ○散歩、ジョギング、ウォークング、犬の散歩等の利用 ○座る、休憩する、景色を眺める、写真撮影、ピクニック等	
		映画上映会イベント実施時の参加者79名	配布アンケート			
	利用団体へのヒアリング調査	①ＮＰＯ法人雁木組 ②ﾎﾟｯﾌﾟﾗ･ﾍｱﾚﾝｼﾞ･ｸﾗﾌﾞ ③カフェテラス倶楽部 ④青空美術館	訪問ヒアリング	○地域資源、環境に対する親しみ、愛着 ○基町環境護岸に対する誇り	○雁木を利用した船の発着利用（雁木タクシー） ○PPCによる清掃活動とオープンカフェの実施 ○映画上映会、コンサートの実施 ○青空美術館実行委員会によるTシャツアートイベントの実施 ○環境保全・学習活動の実施	
	定点観測調査	平日・土日	新港地区側第３橋梁付近		○通勤、通学等の利用 ○散歩、ジョギング、ウォークング、犬の散歩等 ○座る、休憩する、景色を眺める、写真撮影、ピクニック等 ○近所の子供の遊び場の利用 ○近隣コミュニティの形成	
施設周辺	現地調査（調査対象建築物・施設の抽出）	—	—			
	対象建築物等所有者等へのヒアリング調査	①国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所 ②広島市活性化局観光交流部交流課	設計者、計画者へのヒアリング			○太田川沿川の他の箇所の護岸整備へのデザインの継承 ○背後の中央公園との連携
行政	行政担当者へのヒアリング	③広島市都市整備局都市計画課都市デザイン係	訪問ヒアリング	○今後の水辺のあり方を考えるためのシンポジウムや展示の企画展の開催（2004（平成16）年）	○市民団体PPCとの管理協定の締結（2006（平成18）年）	

項目		具体例
意識変化	機能評価	・散歩によいとの評価、休憩に良いという評価 ・様々なイベントに利用されているとの評価
	造形　・空間の印象評価	・街と川に一体感がある、山と川の景色が調和しているとの評価→周辺景観との調和や一体感を評価 ・川に触れ合える雁木がある、石積みの護岸に歴史的な雰囲気を感じるとの評価→雁木や護岸の機能や雰囲気を評価 ・散歩によい、休憩によい、イベント等に利用されているとの評価→利用のしやすさ（機能性）を評価
	親しみ・愛着	・親しみ、愛着を感じるとの評価 ・広島の水辺の中での好きな場所として平和公園界隈に次ぐ2番目の評価
	誇り	・知人が広島に来たら紹介したいと感じるとの評価 ・広島の顔となる場所と感じるとの評価 ・ポプラやニセアカシアがあるとの評価→シンボリックな存在への評価
	その他	・「基町ポップラ通り」の愛称の命名 ・設計者を呼んでのシンポジウムを開催
利用者行動に与える効果	利用形態・頻度等の変化	・早朝・夕方は、ジョギング・ウォーキング、通勤・通学路などの利用が非常に多くみられた ・日中の主な利用は、中心市街地の商業施設等への通り道として、徒歩、自転車の利用が見られた ・休日の日中は、特に、友人同士や親子連れ、恋人同士などレジャーシートを広げピクニック等の滞在する利用が多く見られた
	商業活動の活性化	—
	地域活動の活性化	・愛称「基町ポップラ通り」の命名 ・ＰＰＣ（ﾎﾟｯﾌﾟﾗﾍｱﾚﾝｼﾞｸﾗﾌﾞ）の発足 ・太田川河川事務所とＰＰＣの管理協定の締結 ・維持管理等への参加団体の増加、他団体との連携
	環境保全、学習活動	・映画上映会、オープンカフェ、コンサート、Tシャツアートのイベント、清掃活動等の実施 ・PPCと管理者との管理協定の締結により、他の市民団体の利用がしやすくなった
	施設を核とした避難体制の構築	—
	近隣住民同士の会話の場	・犬の散歩やウォーキングなど毎日利用する人の交歓の場、コミュニティの形成
	利用ルールの形成	・太田川河川事務所とＰＰＣの管理協定の締結
	樹木の手入れ・花壇等の設置	・月に１回の芝生広場の草刈り、清掃活動の実施 ・ベビーポップラの育成
	清掃等の維持管理活動	清掃活動等の実施
施設周辺の空間に与える効果	商業活動の変化	・河川沿いの移動のアンダーパスの設置 ・背後の中央公園との間にある道路の移設計画
	建物ファサード変化	—
	軒先空間の変化	—
	周辺景観の改善	・沿川の河岸親水テラス（1号,2号,3号）の整備、元安橋橋詰親水テラス、元安川河岸テラスの整備 ・太田川下流部高潮防波堤の整備 ・「水の都ひろしま整備構想」（平成2年）に基づく周辺空間を含めた整備
	周辺施設の連帯性の向上	・河川沿いの移動のアンダーパスの設置 ・背後の中央公園との間にある道路の移設計画
	視点場の形成	—
その他	外部評価	・土木学会デザイン賞特別賞受賞 ・基町護岸設計者等関係者をパネラーにした「太田川水辺のデザイン展」、「水辺のデザイントーク」、「水辺デザインウォーク」の開催
	メディア露出	・映画「夕凪の街、桜の国」の撮影 ・ＣＭ撮影、結婚式の写真撮影　等

調査範囲等

アンケート配布範囲：
①基町環境護岸周辺に通勤、通学等で利用する人への配布
②中央公民館利用者への配布

▲緑地のベンチに貼られた管理者とPPCで交わされた管理協定の内容

▲月に1回行われるPPCによる草刈りの様子

▲5月31日に行われた映画上映会の様子

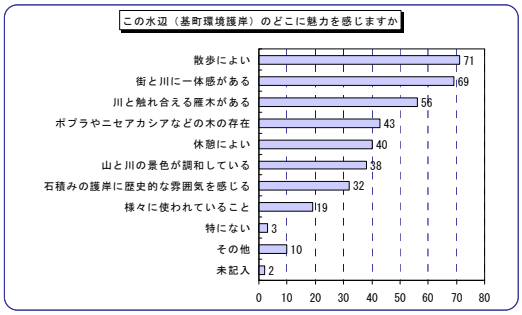
▲犬の散歩に来る人のコミュニティの形成

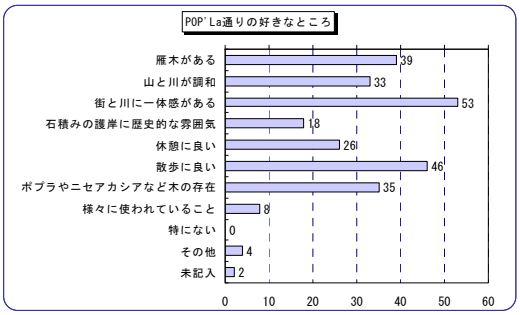
▲護岸を下りて水辺で遊ぶ子供の様子

▲雁木を発着場とした雁木タクシーの利用

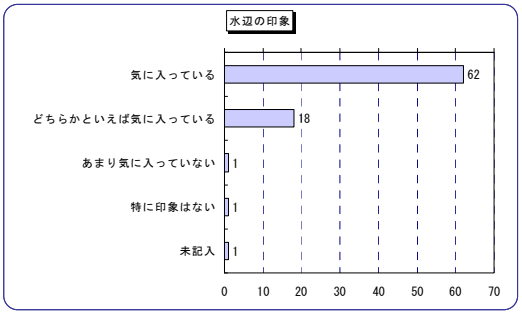
２）調査結果の整理

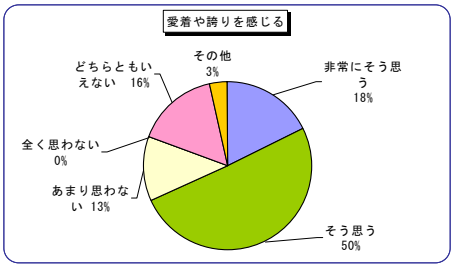
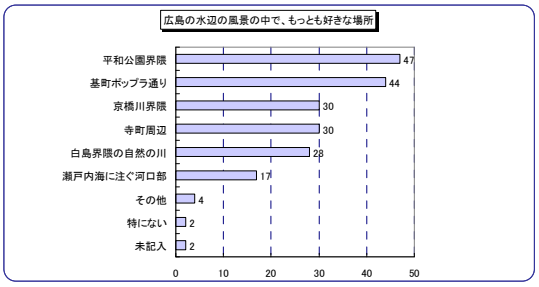
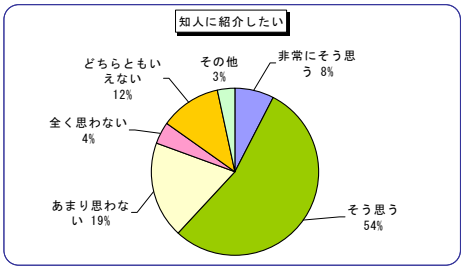
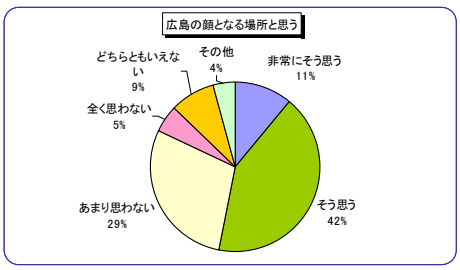
調査結果の詳細は以下の通り。

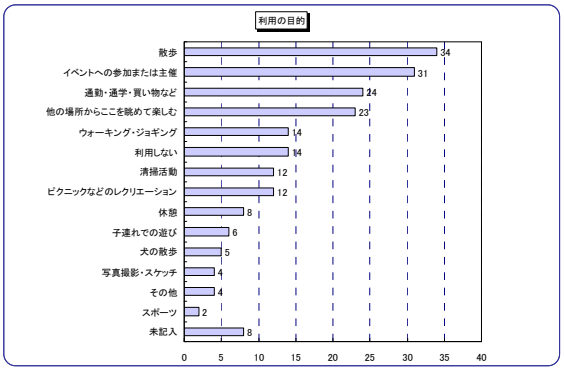
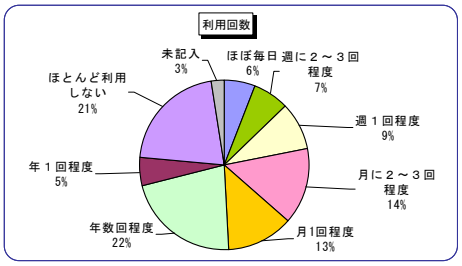
<table>
<tr><th colspan="2">景観整備による
効果メニュー</th><th>調査結果</th><th>結果を得た
調査</th></tr>
<tr><td rowspan="2">意識変化</td><td>①機能評価</td><td>◇基町護岸について魅力を感じる内容
・「散歩によい」（58%）
・「休憩に良い」（33%）
・「さまざまなイベント等に利用されている」（16%）
【住民】
 

【来訪者】
 
</td><td>住民ｱﾝｹｰﾄ
(N=122)

来訪者ｱﾝｹｰﾄ
(N=264)</td></tr>
<tr><td>②施設・空間の印象評価</td><td>◇基町護岸について魅力を感じる内容
・「散歩によい」（58%）
・「街と川に一体感がある」（57%）
・「川と触れ合える雁木がある」（46%）
・「ポプラやニセアカシアがある」（35%）
・「休憩に良い」（33%）
・「山と川の景色が調和している」（31%）
・「石積みの護岸に歴史的な雰囲気を感じる」（26%）
・「さまざまなイベント等に利用されている」（16%）

【来訪者】
 
</td><td>住民ｱﾝｹｰﾄ
(N=122)
来訪者ｱﾝｹｰﾄ
(N=83)</td></tr>
</table>

景観整備による効果メニュー		調査結果	結果を得た調査
	③親しみ・愛着	・親しみ、愛着を感じる：大変感じる、感じる（66%）  ◇広島の水辺で最も好きな場所→第２位の評価  ・「平和公園界隈」（39%） ・「基町ポップラ通り」（36%） ・「寺町周辺」「京橋川界隈」（25%） 【自由解答：理由】 ・住まい（職場）が近く愛着があるため ・川と山など周囲の景色と調和しており落ち着くため、車道が離れており、都心にもかかわらず落ち着くため ・水辺が広く開放感があるため	住民ｱﾝｹｰﾄ（N=122）
	④誇り	・知人が広島に来たら紹介したい：大変感じる、感じる（60%）  ・広島の顔となる場所：大変感じる、感じる（51%）  	住民ｱﾝｹｰﾄ（N=122）
	⑤その他	◇景観やまちづくりに対する意識の高まり ・「基町ポップラ通り」の愛称の命名 ・設計者を呼んでのシンポジウムを開催	

景観整備による効果メニュー		調査結果	結果を得た調査
利用者行動に与える変化	①利用形態・頻度等の変化	（※新規整備のため、前後比較不可。整備以前はほとんど利用されない場所であったため、単純に利用の増加、多様化というには注意が必要である。） ◇利用目的 【アンケート】  ・「散歩」（28%）・「イベントへの参加または開催」（25%） ・「通勤・通学」（20%）・「他の場所から眺める」（19%） ・「ウォーキング、ジョギング」（11%） ・「清掃活動」「ピクニック等のレクリエーション」（10%） ・「休憩」（7%）・「犬の散歩」「子連れでの遊び」（5%） ・「写真撮影」「スケッチ」（3%） （写真）アカシアの木の下でピクニックをする様子　（写真）ジョギングの様子 【ヒアリング】 ・中央公民館で行う健康ウォークのプログラムの６コース中、２コースとして利用。毎週木曜日（参加者 15 名）、第１，３木曜日（参加者８名）開催。 【定点観測】 ・近所の子供達の遊び場としての利用 ・ベンチや芝生広場を利用した休憩、運動等の利用 ◇利用頻度  ・利用頻度は、月に１回以上が 48%と約半数を占める。 ・「週に１回以上」（22%）、「月に１回以上、週１回以下」（26%）、「年に１回から数回程度」（26%）、「ほとんど利用しない」（20%）	住民ｱﾝｹｰﾄ（N=122） ﾋｱﾘﾝｸﾞ 定点観測

<table>
<tr><th>景観整備による
効果メニュー</th><th>調査結果</th><th>結果を得た
調査</th></tr>
<tr><td>②商業活動の活性化</td><td>―</td><td></td></tr>
<tr><td>③地域活動（イベント・行事）活性化</td><td>・花見（１年で最も利用が）多い

（写真）花見の時期の様子
・夕凪コンサート、映画上映会、オープンカフェ、Ｔシャツアートなどのイベントの開催

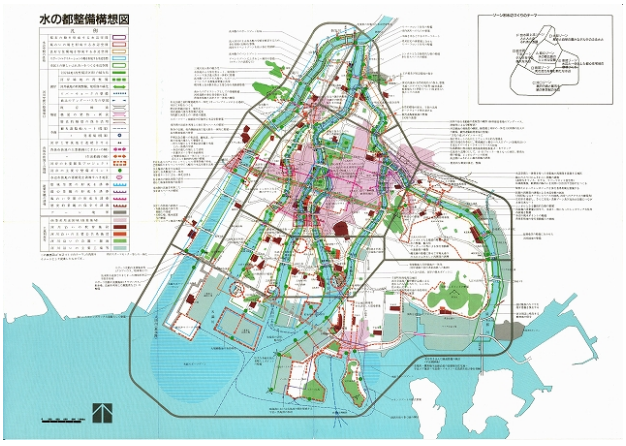
（写真）T シャツアートのイベントの様子
・「水の都デルタライブ」
国・県・市が策定した「水の都ひろしま構想」の実行イベントとして実施。
３日間で約 15,000 人が来場

（写真）水の都デルタライブの様子
・ＰＰＣの管理により市民団体の利用がしやすくなった

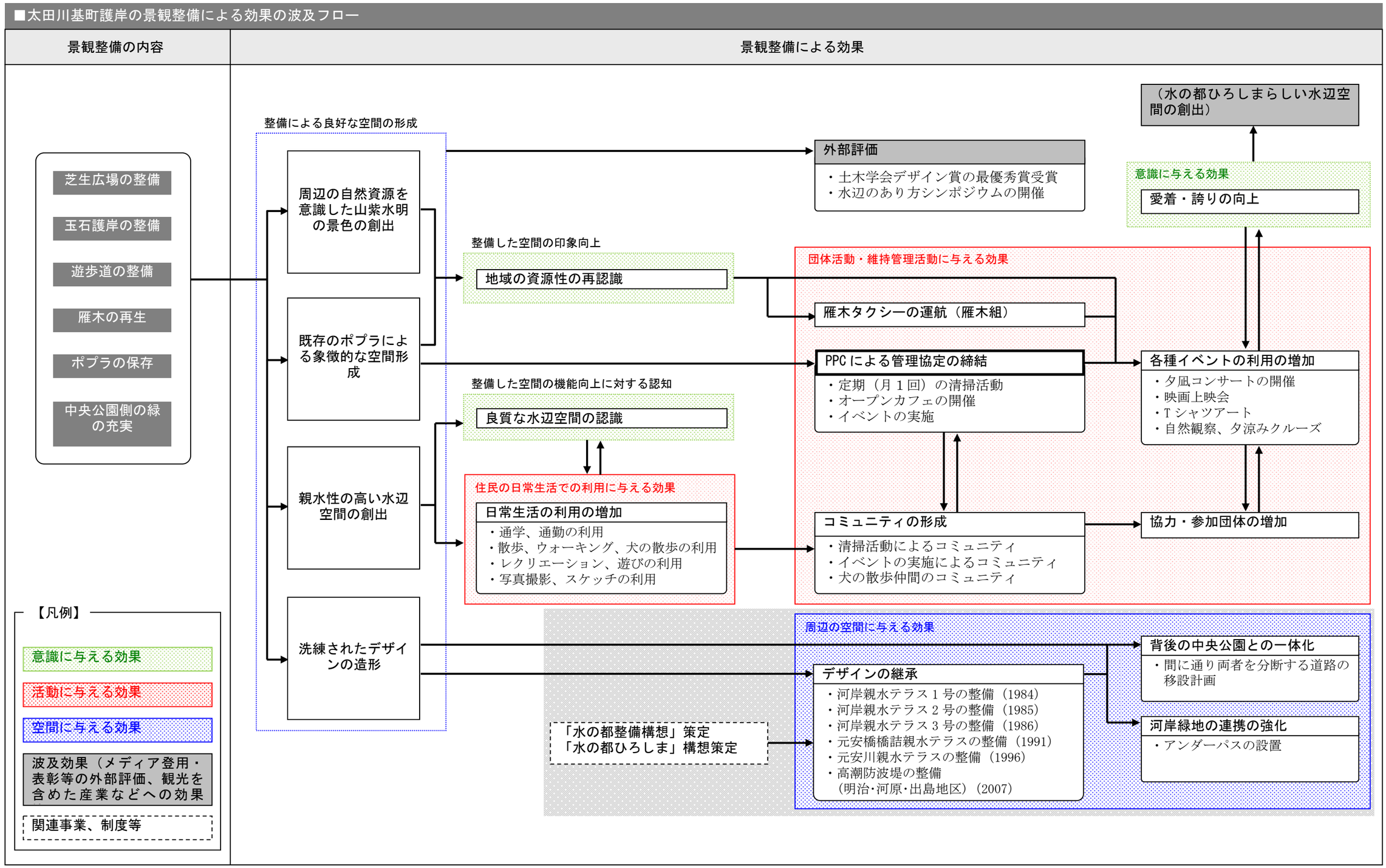
（写真）映画上映会のイベントの様子</td><td>ﾋｱﾘﾝｸﾞ
（PPC、カフェテラス倶楽部等）</td></tr>
<tr><td>④環境保全・学習活動</td><td>・自然観察、船着場として雁木を利用した雁木タクシーでの夕涼みクルーズの実施、しじみの観察等

（写真）雁木を発着場とする雁木タクシーと発着場の案内</td><td>ﾋｱﾘﾝｸﾞ
（NPO 法人雁木組）</td></tr>
</table>

景観整備による効果メニュー		調査結果	結果を得た調査
	⑤施設を核とした避難体制の構築	―	
	⑥近隣住民同士の会話の場	・犬の散歩仲間や、清掃活動参加者の交歓の場としての利用 （写真）犬の散歩仲間の交歓の場としての利用の様子	定点観測 ﾋｱﾘﾝｸﾞ （来訪者）
	⑦利用ルールの作成	―	
	⑧樹木の手入れ・花壇等の設置	―	
	⑨清掃等の維持管理活動	・月１回のＰＰＣによる定例の草刈り、清掃活動 ・ベビーポップラを育て、里親を募集し譲り渡す （写真）ポップラとベビーポップラ （写真）定例の草刈りの様子	ﾋｱﾘﾝｸﾞ （PPC）
	⑩その他	・愛称「基町ポップラ通り」の命名 ・ＰＰＣ（ﾎﾟｯﾌﾟﾗﾍﾟｱﾚﾝﾂｸﾗﾌﾞ）の発足 ・太田川河川事務所とＰＰＣの管理協定の締結 ・維持管理等への参加団体の増加、他団体との連携 （写真）施設内のベンチに貼られたPPCとの協定内容について記したパネル	ﾋｱﾘﾝｸﾞ （PPC、NPO法人雁木組等）
施設周辺の空間に与える効果	①商業活動の変化	―	
	②建物ファサード変化	―	
	③軒先空間の変化	―	

景観整備による効果メニュー		調査結果	結果を得た調査
	④周辺景観の改善	◇デザインを踏襲した整備 ・沿川の河岸親水テラス（1 号, 2 号, 3 号）の整備、元安橋橋詰親水テラス、元安川河岸テラスの整備 ・太田川下流部高潮防波堤の整備 （写真）元安橋橋詰親水テラス （写真）太田川下流部高潮防波堤	ﾋｱﾘﾝｸﾞ（広島市）
	⑤周辺施設の連帯性の向上	・河川沿いの移動のアンダーパスの設置 ・背後の中央公園との間にある道路の移設計画 （写真）背後の中央公園との間にある道路	ﾋｱﾘﾝｸﾞ（広島市、太田川河川事務所）
	⑥視点場の形成	―	
	⑦その他	・水の都整備構想に基づく周辺空間を含めた整備  （図）水の都整備構想図	文献調査 ﾋｱﾘﾝｸﾞ（広島市）

景観整備による効果メニュー		調査結果	結果を得た調査
その他	①受賞、表彰等	・土木学会デザイン賞特別賞受賞 ・基町護岸設計者等関係者をパネラーにした「太田川水辺のデザイン展」における「水辺のデザイントーク」、「水辺デザインウォーク」の開催（ＰＰＣ主催、太田川河川事務所の協力） （図）水辺デザインウォークのパンフレット	文献調査 ﾋｱﾘﾝｸﾞ （PPC）
	②マスコミ、メディアへの掲載	・映画「夕凪の街、桜の国」の撮影 ・ＣＭ撮影 ・結婚式の写真撮影　等 （写真）映画の撮影の様子 ・雑誌「ゼクシー」で結婚式の記念撮影の場として紹介。このほか、ポスター撮影や映画のロケ、風景画の対象になるなど、美しい水辺の風景として定着している。 （写真）結婚情報誌「ゼクシー」の撮影の様子 （写真）カップルが願掛けを書き残した玉石	文献調査 ﾋｱﾘﾝｸﾞ （PPC、太田川河川事務所）

3）効果の波及フロー

■太田川基町護岸の景観整備による効果の波及フロー